

HOT2018 第4戦 Megabass & nada. CUP開催!!

2018/12/02(SUN)



写真提供ボートクラブカナル 静岡県浜松市西区村櫛町4607-13 TEL 053-439-2377 URL <http://www.bc-canal.com/> REPORT 小野田 賢一氏



最終戦優勝 樋山重則 選手 3,050g 最終戦2位 高柳吉晃 選手 2,850g 最終戦3位 村田光寿 選手 2,690g



年間成績:1位 黒田 健史 選手 142p. 2位 守田 耕平 選手 131p. 3位 松田 秀生 選手 125p. 4位 山崎 文敬 選手 124p. 5位 清水 豊記 選手 122p



初の12月開催となったHOT2018最終戦。どうしたか寒くない。12月?というよりいつもの最終戦である11月上旬の方が寒いと感じるほどまったくもって寒くない。それもそのはず、HOT当日朝の気温は10.2℃もあり、最高気温も18.9℃という異例の暖かさとなったのである。今回のメインスポンサーはまず、第3戦に引き続き第1回のHOTから全戦においてサポートし続けていただいております『Megabass』さま。あまりにも有名すぎて説明不要の世界的ルアーメーカーであり、HOTにおいてもこれまで数え切れない回数の表彰台を『Megabass』製のルアーとロッドが獲得していることは誰もが知るところである。そして、共同スポンサーは『nada.』である。浜名湖最強アングラーの黒田プロが開発に携わり、そしてデビュー後すぐにセンセーショナルな釣果であるという間に浜名湖の定番となったテッパンパイプ「SPARROW」は、樹脂製パイプとはひと味違った波動で浜名湖シーバスを魅了。その実力に惚れ込むアングラー続出で発売後最短で超定番ルアーとなった。いつもより1時間遅い午前7時半に受付を締め切りミーティング後にフライト開始。初の12月開催ではあったが気温の高さもあって違和感なくスタート。13時の到着ということでいつもより若干トーナメントタイムは短い、例年の最終戦は帰着が

12時なので例年通りと言えば例年通りの実釣時間となった。3位はボトムワインドでS字航路周辺のフラットを攻めた村田選手がキビレとマゴチのミックスマグで2,690gをウエイン!ヒットタイムがなんと3本すべてが11時から30分の間ということで、スイッチが入ったタイミングを逃さずに勝負を決めたことがすべてであった。今回のウイニングパターンはズバリ、高活性なシーバスをタイミング逃さず狙い撃ち、であった。浜名湖を攻略する上での基本中の基本であり、それを見事に結果につなげお手本のような釣り方とウエイトで会場の度肝を抜いたのが準優勝の高柳選手と優勝の樋山選手だ。第3戦に続き同船者によるワンツーフィニッシュということでいかにそのパターンが強力だったのかが理解できる。そして年間チャンプは有言実行で宣言通り勝ち取った黒田選手!今年は常に安定したスコアメイクが目立ち、一発優勝の釣りよりも年間ランキングを意識したゲーム展開が多く、最終戦も苦しみながらもまとめてくるあたりが流石!!14年目のHOTも無事に事故もなく終了することができました。参加いただいたひとりひとりの選手の皆様、本当にありがとうございました。皆さまの高い意識が無ければ、このような長い間大きな事故も無く開催することは絶対にできなかったと思います。心より感謝申し上げます。